

令和7年度

なは SDGs 推進事業（多様なつながり地域づくり）

那覇市版SIBプロジェクト

一般社団法人 琉球フィルハーモニック

若狭公民館発

吹奏楽を通じた地域クラブモデルづくりプロジェクト

～地域と奏でる、子どもとまちの未来を拓くハーモニー～

音楽と共に まちと響きあう

琉球フィルハーモニックは人々の生活の中で**音楽が果たす役割を追究し**、音楽を安心して鑑賞できる環境づくりを行っています。

音楽による子どもたちの育成、子どもの居場所づくり等の活動をとおして、**潤いのあるまちづくり**に貢献してまいります。



プロの演奏活動



琉球フィルハーモニック
オーケストラ

バリアフリーな公演
「跳びはねてもいい音楽会」
「美らサ운ズコンサート」
離島・へき地公演
など



琉球フィルハーモニック
ジャズプレイヤーズ

ICTを活用した体験保障



子どもの居場所づくり



ジュニアジャズオーケストラおきなわ

子どもの育成



那覇ジュニアオーケストラ

地域クラブとは

これまで学校が中心だった部活動を、地域が主体となって支える新しい取り組みです。

学校の枠を超えて活動することで、地域の人や専門家と関わる機会が広がり、子どもたちはより自由な環境で学ぶことができます。

地域全体で子どもの活動を支える仕組みとして注目されています。



プロジェクトの動機

背景と課題

少子化や教員の多忙化により
部活動の地域展開が求められる

吹奏楽部は特有の課題（楽器保管・指導人材不足など）を抱える

那覇市若狭地域でも持続可能な
運営体制の構築が急務

前年度調査で
見えてきた課題

教員の負担軽減、専門的
指導のニーズが明確に

「ヒト・モノ・カネ」
全てにおいて課題あり

特に音楽系部活動の
地域展開は難易度が高い

前年度調査まとめ

本調査は、沖縄県・那覇市における中学校の吹奏楽部を中心とした音楽系部活動の地域移行に関して、学校（顧問、学校長、音楽専科教員）、地域それぞれの立場において感じているニーズや課題を明確にし、次年度のより本格的な調査への論点整理に役立てることを目的に計50人へのヒアリング調査、アンケート調査を実施した。

回答者の多くは、**一定の不安や課題を感じているものの、教員の負担軽減や指導の高度化など部活動の地域移行に対する意義やメリットを感じ取っており、部活動の地域移行を好意的に捉えていた。**課題やニーズに対しても、類似するものが多く、**ヒト・モノ・カネの観点で整理すると以下のものが挙げられた。**

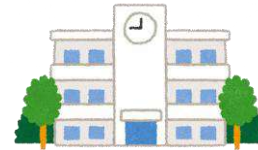
下記の整理には、吹奏楽部を中心とした音楽系部活動が特に抱える困難として、楽器の保管や整備、移動に関するものが含まれており、他の部活動に対して、よりコストが高く、部活動の地域移行に関して困難度の高いことが確認された。

ヒト



- 適切な指導人材の確保・育成の仕組みづくり
- 子どもへの影響を最小限にし、発達課題や不登校の子どもなど多様な子どもへの対応体制も整備すること
- 保護者や地域住民への負担軽減（送迎や費用負担）
- 地域移行の目的や運営方法に関する周知活動の強化
- 地域人材や保護者と学校間の連携強化

モノ



施設・設備に関すること

- 活動場所の確保と管理方法を整備し、施設利用ルールを明確化すること
- 楽器や備品の移動・保管に対応する環境の整備
- 不審者対応や戸締り責任分担の整備
- ITや自動化による施設管理業務の効率化

マニュアル・ガイドラインに関すること

- トラブルや緊急時対応マニュアルの作成と周知
- 部活動運営に関する運営ルール・ガイドラインの整備
- 成功事例やモデルケースの共有

カネ



- 指導者への安定した報酬制度の確立
- 楽器修繕及び購入費や消耗品費用への補助
- 保護者負担の軽減と部活動運営資金の確保
- 企業スポンサーやクラウドファンディングの活用
- 透明性のある運用体制の構築

プロジェクトの趣旨・目的

運営体制や活動環境の整備に課題を抱える吹奏楽部に焦点を当て、地域に根ざした新たなクラブ活動のあり方を検討する

- ♪ 那覇中&上山中の吹奏楽部員を対象に若狭公民館を拠点とした地域クラブ活動のシミュレーション
- ♪ 地域資源を活用した持続可能な吹奏楽の地域クラブのモデルを構築
- ♪ ジュニアジャズとの連携で世代を超えた音楽活動を実現



プロジェクトの内容

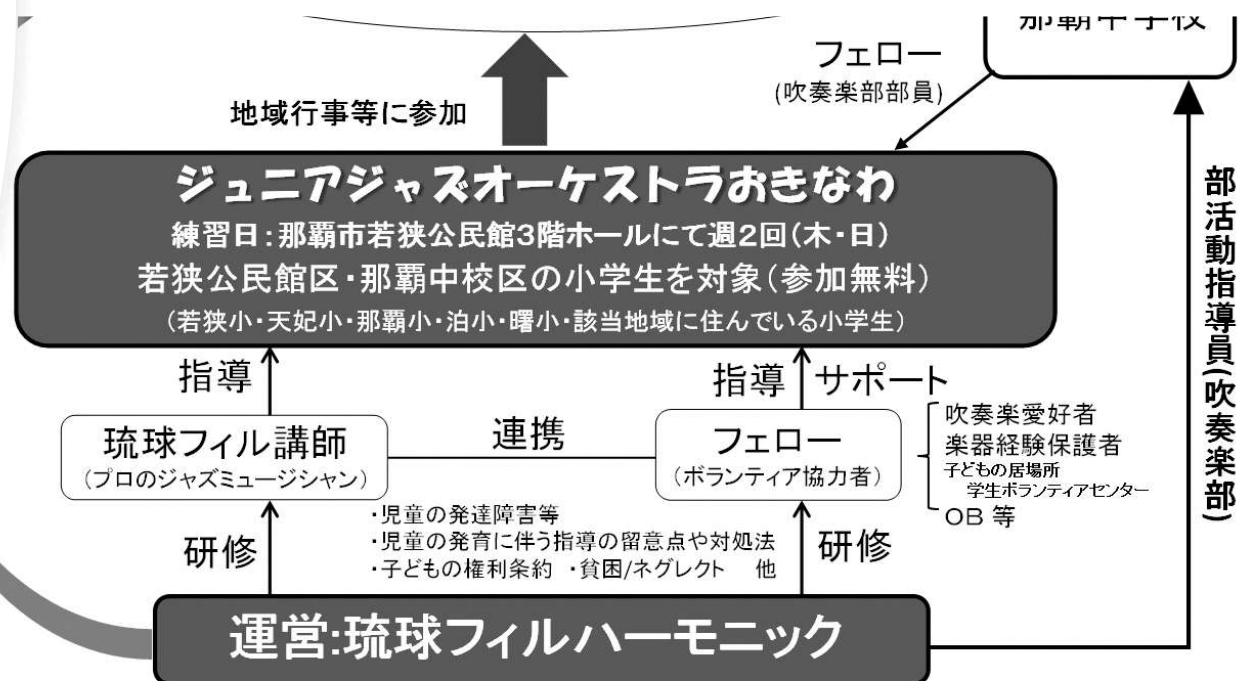
2校の生徒・保護者・顧問への趣旨説明と話し合い
をととして地域クラブのモデルを検討

♪ 毎週日曜、若狭公民館3階ホールで活動
(14:30～17:00)

※16:00～17:00中学生のみの活動

♪ 吹奏楽コンクールや地域行事などへ参加

♪ アンケート調査、相関図作成による検証



年間スケジュール概要

7月：沖縄県吹奏楽コンクール

11月：若狭地域文化祭(ジュニアジャズと合同演奏)

以下事業期間外

2月：若狭公民館まつり(ジュニアジャズと合同演奏)

3月：ジュニアジャズオーケストラおきなわ
発表会にゲスト出演(投資者招待)



成果目標

中学生15名以上の参加



2回以上の
地域イベント参加



満足度80%以上

(生徒・保護者アンケート)



期待される 効果

教育・文化・地域福祉の連携による
地域モデルの提示

公民館活性化、世代を超えた交流の促進

教員負担軽減と地域クラブ運営知見の
蓄積

本プロジェクト の特色

地域資源を活かした持続可能なクラブモデルの構築

教育・文化・地域福祉が連携する実践的な運営の検証

学校・地域・行政が協働する先行モデルの提示

公民館を拠点とした地域活動と住民交流の促進

小中学生による世代間の音楽活動を推進

音楽を通じた子どもの体験保障と成長支援

地域住民の参画で支援体制と教育力を強化

教員の負担軽減と地域連携による活動の実現

那覇市と連携した政策的な効果の検証

プロジェクト 終了後の 継続の仕方

地域クラブの自走化を目指す

地域団体・公民館との連携を強化し、拠点の安定運営と育成の循環を形成

多様な資金源の確保

自治体支援に加え、企業協賛やクラウドファンディングの活用を検討

「若狭モデル」の展開へ

地域主導型クラブの成功事例として、他地域への横展を視野に

行政との連携による制度提案

学校外での地域部活動制度の新たな形を、那覇市教育委員会と連携して提案

出資金の使い道

プロジェクトを推進するスタッフの活動費、講師への謝礼・旅費交通費、生徒や保護者の安全確保のための保険料に使わせていただく予定です。

各費用の内訳

人件費: プロジェクトを推進するスタッフの活動費用

報償費: 講師への謝礼

旅費交通費(外部講師): 外部から招へいする講師の交通費

保険料: 保護者や生徒の活動時、ボランティアドライバーの運搬時の保険や
団体保険料

業務委託費: アンケート項目の検討や簡易分析に必要な費用

消耗品費: 楽譜やアンケート用紙などの印刷費、その他の用紙代

※講師料やイベント開催費の一部について、また講師向けの保険や研修等の費用は
既存の活動である「ジュニアジャズオーケストラおきなわ」の活動費を一部有効活用し、賄う予定です。

令和7年度

なは SDGs 推進事業（多様なつながり地域づくり）

那覇市版SIBプロジェクト

一般社団法人 琉球フィルハーモニック

若狭公民館発

吹奏楽を通じた地域クラブモデルづくりプロジェクト

～地域と奏でる、子どもとまちの未来を拓くハーモニー～